



保存版
令和3年
5月発行

ポイント
1

原則は早い段階で安全な場所へ 逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則ですが、逃げ遅れてしまった場合には、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。



あなた、家族、地域の命を土砂災害から守るためのポイント

ポイント1 原則は早い段階で安全な場所へ
逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ

ポイント2 情報にしたがい適切に避難



ポイントを確認し、
具体的な避難を
考えましょう

情報にしたがい適切に避難

土砂災害や洪水災害などの危険性が高まった地域には、避難情報が発令されますので、その地域にいる方は、早めに避難しましょう。しかし、局地的な雨の場合には、避難情報が出ない場合があります。避難情報が無くても、いつもと違うと感じたら避難しましょう。

(警戒レベル3)
※
高齢者等避難

危険な場所から高齢者等は避難!
(避難に時間のかかる方とその支援者も含まれます。)

災害のおそれあり

※高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、自主的に避難しましょう。

雨が降り始める

いつものと違う
大雨や台風が
迫っている

いつものと違う
多くの雨が
降っている

いつものと違う
川が増水
している

地域で共有

周囲に異変
がみられる

前兆現象

指定緊急避難場所

みんなで協力して避難

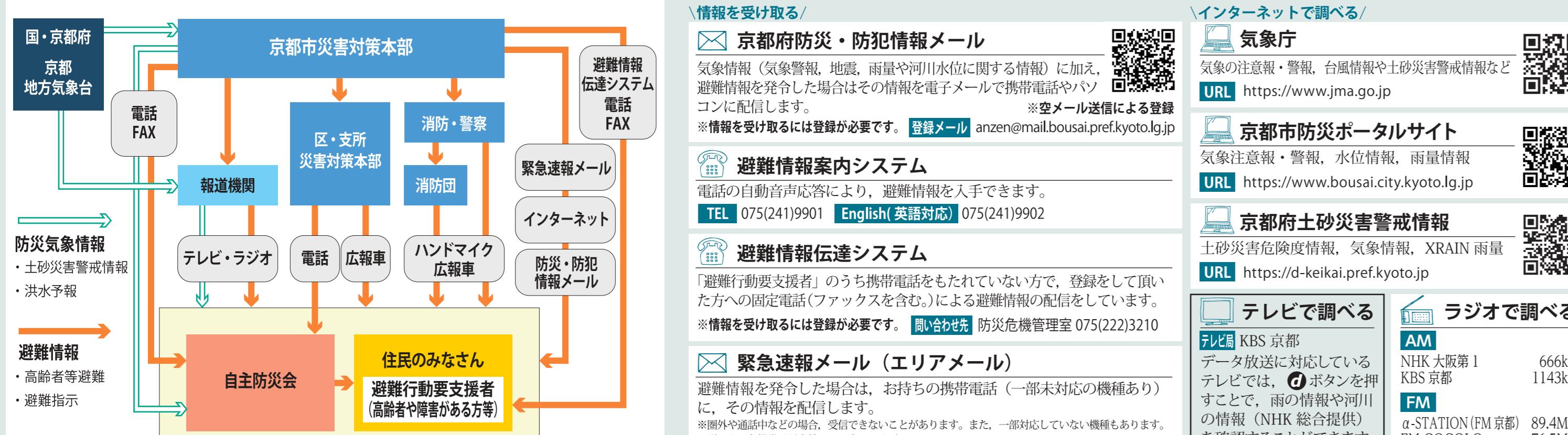
土石流が発生

がけ崩れが発生

発災

発災後

避難情報・気象情報の伝わりかた



ポイント
1

原則は早い段階で安全な場所へ 逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則ですが、逃げ遅れてしまった場合には、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

原則 /

早い段階で
安全な場所へ

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則です。

早い段階ってどんなとき? 例え...

- ◎事前に大型の台風や大雨が予想される場合
- ◎夜中に雨が降り続くと予想される場合
- ◎避難情報を聞いた場合
- ◎前兆現象などいつもと違うと感じた場合

我が家の防災行動計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう!

- 住んでいる場所や家族構成によって、災害時に取るべき行動やタイミングは異なります。普段から防災意識を高め、適切な避難行動を知るため、家族や地域で相談しながら、防災行動計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう。
- ウェBSITE(京都市防災ポータルサイト)で作成できます。また、区役所・支所、消防署でリーフレットも配布しています。



京都市防災ポータルサイト マイ・タイムライン

検索



QR

</